

2018年8月6日（月）7日（火）haremachi ハイスクール開催

8月6日と7日の2日間、岡山県内の放送部の高校生がイオンモール岡山で働く方々を取材し、番組制作の体験をする「イオンモール岡山で働く人たちに学ぶ！haremachi ハイスクール」が行われました。この取り組みは、岡山県高等学校放送文化連盟の夏季研修会としてイオンモール岡山の館内で放送されている「haremachiTV」を活用し、今年初めて行われたもので、就実高校、玉島高校、岡山芳泉高校から合計14名が参加し、高校ごとに5分程度のミニ番組を制作しました。研修では「伝える相手を意識した番組作り」をテーマに番組の構成や台本を考え、店舗の方々にインタビューを行いました。

各校が制作した番組のタイトルは、就実高校が「TOPの人生～高校生が聞いてみた！～」、玉島高校が「発見！ズッキンポイント」、芳泉高校が「イオンで働くプロに聞く！教えて！あなたの職業病ベスト3」です。研修の最後には、番組制作に携わる OHK 社員から具体的なアドバイスを受けました。萩原渉アナウンサーには、普段から言葉使いに気を付けているとトークの場面でも自然に綺麗な言葉で話すことができることを、制作部の戸田奈沙ディレクターからは、インタビューしている様子を伝えるのならば取材対象者とインタビュアーと一緒に映すと観ている人に場面が伝わりやすいことをアドバイスされました。

また、ゲスト講師の立命館大学 飯田豊准教授からは、テレビを取り巻く状況が大きく変わり、スマートフォンの動画ソーシャルアプリを使えば誰でも送り手になれる時代、放送局と視聴者の関係性もまた、根本的に見直す必要があります。この新しいメディアを媒介に、送り手と受け手が番組制作を通じて対話したことで、それぞれ異なる立場から、放送の意義や課題を捉え直す格好の機会になったのではないかと思います、と講評して頂きました。

今回3校が制作した番組はイオンモール岡山の「haremachiTV」で8月中放送されます。皆様是非ご覧ください。

